

原子力規制庁委託事業

令和3年度 緊急時モニタリング要員育成

モニタリング技術に 関する基礎的な講座

— 受講者募集案内 —

【神奈川県】

令和3年11月

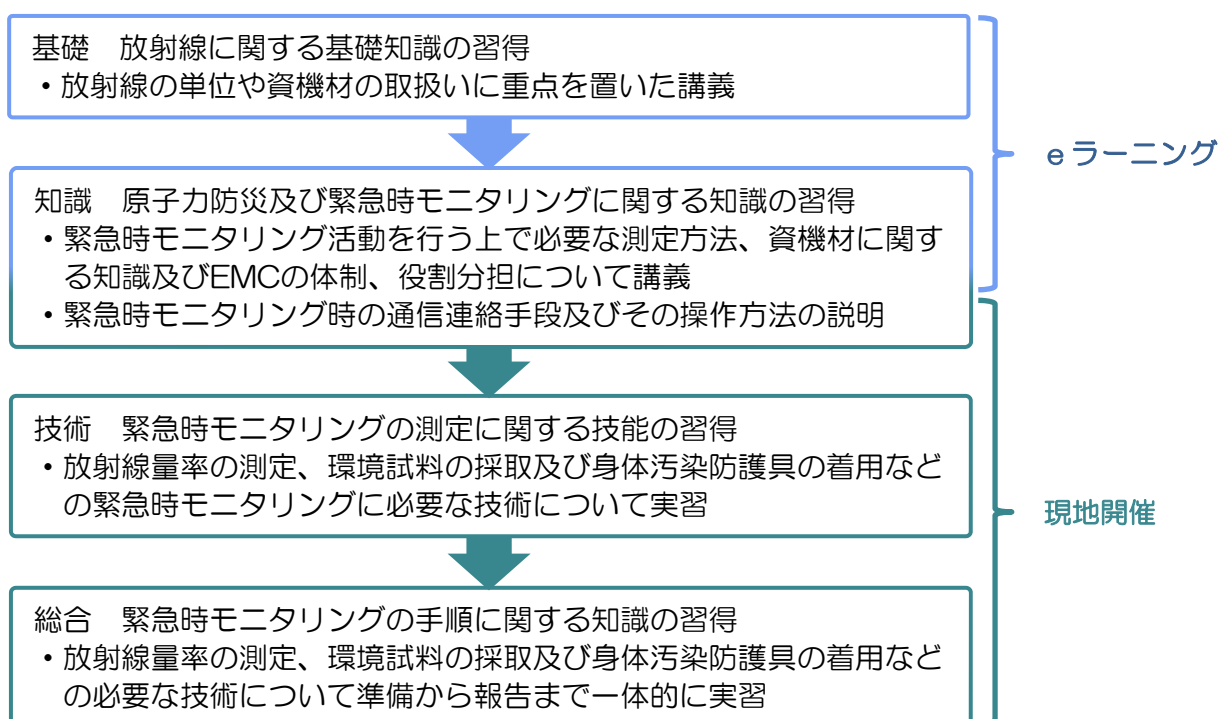
公益財団法人 原子力安全研究協会

モニタリング技術に関する基礎的な講座について

概要

本講座では、緊急時モニタリングに従事する地方公共団体職員等の皆様に対して、緊急時モニタリングの実施に備えた野外モニタリング実施方法や緊急時モニタリングセンター（EMC）での活動に関する基礎から実践までの講義、実習及び演習を行い、知識や技術の習得を図ります。

基本体系



緊急時モニタリングは、その結果が運用上の介入レベル（OIL）により防護措置の判断等のために活用される原子力防災の要となるものであり、様々な方が緊急時モニタリング要員として従事されることが予定されています。

本講座では、日常的にモニタリング業務に従事されている方も、そうでない方も、緊急時モニタリング要員の皆様が確実に緊急時モニタリング活動に対応できるよう、より多くの方に知識や技術を習得していただきたいと考えております。

本講座では、様々な方のニーズに合わせた受講を可能とするため、一部のカリキュラムについては、選択的な受講を可能とし、また、今般の新型コロナウイルス感染症拡大防止の一環として、講義にeラーニングを導入します。

ぜひ、有効にご活用ください。

令和3年度 モニタリング技術に関する基礎的な講座の受講者募集について

神奈川県モニタリング技術に関する基礎的な講座を下記のとおり開催いたします。本講座の概要並びに講義、実習及び演習の内容につきましては、「6. 概要」、「7. カリキュラム」をご参照ください。

1. 開催日、開催場所及び応募締切日時

開催日時	開催場所	応募締切日時
令和3年12月14日(火) 9:00～17:00	横浜ワールドポーターズ 6F会議室 (神奈川県横浜市中区新港二丁目2番1号)	令和3年 11月30日(火) 17:00

2. 受講料 無 料

3. 申込み方法

① インターネットによるお申込み

本講座ホームページ(<https://www.moni-jinzai.jp/>)にアクセスし、受講申込フォームに必要事項を直接ご入力の上、送信ボタンをクリックしてください。

② 受講申込票によるお申込み (Email又はFax)

別添の受講申込票に必要事項をご記入の上、下記申込み先に**Email**又は**Fax**にてご送付ください。地方公共団体等で複数名の受講者を取りまとめの上一括でお申込みされる場合は、取りまとめご担当者様の氏名及び所属を必ずご記入ください。

なお、申込票は受講者1名につき1枚作成してください。

4. 申込み及び問合せ

公益財団法人 原子力安全研究協会 放射線災害医療研究所 防災グループ
モニタリング技術に関する基礎的な講座事務局
〒105-0004 東京都港区新橋5丁目18番7号

<問合せ先>

TEL:050-9001-2829 (担当:世木田)

<申込み先>

① インターネットによる申込み URL : <https://www.moni-jinzai.jp/>

② 受講申込票による申込み Email : moni-ken@nsra.or.jp

FAX : 03-6809-2270

※申込票の個人情報は、本事業以外には一切使用いたしません。

5. 受講者の決定及び通知

応募締切後、受講決定通知及び講座案内を指定のメールアドレスに送信いたします。
なお、定員を超えるお申込みがあった場合は、本講座未受講の方を優先するなど調整する場合があります。あらかじめご了承ください。

6. モニタリング技術に関する基礎的な講座の概要

(1) 目的

原子力災害時における緊急時モニタリングを適切に実施するために必要な知識と技術の習得

(2) 目標

- ・ 放射線の基礎、緊急時モニタリングの基礎知識を習得する。
- ・ モニタリング資機材の使用方法を習得する。
- ・ 環境試料の採取方法を習得する。
- ・ 野外モニタリング活動時の放射線防護を習得する。

(3) 対象者

開催地域及びその周辺地域の緊急時モニタリング業務に従事する地方公共団体職員等

※ 過去に本講座に参加された方につきましても、最新の知見の確認のため、定期的な受講をお勧めいたします。

(4) 定員 20名程度

(5) 新型コロナウイルス感染症防止対策

<受講者の皆様へのお願い>

- ・ 発熱及び体調不良等の症状がある場合は、受講をお控えください。
- ・ 受付時に、非接触型体温計による体温測定にご協力ください。
- ・ 略式の受付方法にご理解ください。
※ 受付では、事務局スタッフとの接触を減らすため、名札シールの取得状況により出欠を確認します。受付机に置かれた名札シールを各自お取りください。
- ・ 会場備付けの消毒液で、手指の消毒をしてください。
- ・ 会場内では、原則不織布マスクを着用してください。
- ・ 昼食は、会場外でお取りください。会場への食べ物の持ち込みは禁止されております。(飴やガム程度であれば可)
- ・ ゴミは、各自お持ち帰りください。
- ・ 本講座受講後2週間以内に、新型コロナウイルスへの感染が確認された場合には、当協会まで速やかにご連絡ください。

<講師及び事務局スタッフの対応>

- ・ 講師及び事務局スタッフは、検温・健康状態の確認を毎日行い、発熱及び体調不良等の症状がある場合には、参加を見合わせます。

- ・ 講師との距離及び受講者同士の距離を一定以上保てるよう配置を考慮します。
- ・ 講師及び事務局スタッフが指導等のためやむを得ず受講者に接近する場合は、短時間となるよう留意します。
- ・ 会場では不織布マスクを着用します。
- ・ 手指、マイク、実習資機材等の消毒を徹底します。
- ・ 十分な量の消毒液、除菌シート、予備不織布マスク等の感染症対策用品を準備します。
- ・ 休憩時等の換気を徹底します。
- ・ 体調不良とならないよう、室温等に十分留意します。
- ・ 講座開催後も関係者と速やかに連絡を取ることのできる体制を構築します。
- ・ 本講座の関係者が新型コロナウイルスに感染したとの情報を受けた場合には、受講者及び関係する地方自治体に電子メール等により連絡します。

7. カリキュラム

eラーニング		
講義1	放射線の基礎	放射線の基礎知識として、放射性物質、放射線の種類と性質、放射線の測定、放射線被ばく、放射能・放射線に関する単位、放射線の人体への影響、放射線被ばくの防護、放射線測定器の選び方等を講義
講義2	緊急時モニタリングの流れ	緊急時モニタリングの基礎知識として、目的、緊急事態区分と緊急時活動レベル(EAL)、運用上の介入レベル(OIL)と防護措置、体制と事前の準備、緊急時モニタリング計画と緊急時モニタリング実施計画、事態に応じた体制と活動、緊急時モニタリング手順等を講義
講義3	緊急時モニタリングの実際	緊急時モニタリングを実施するうえで必要な知識として、緊急時に着目する放射性物質と環境中での移行、福島原発事故での放射性物質の放出とその影響、緊急時モニタリング実施計画に基づく測定方法(①空間放射線量率の測定、②大気中の放射性物質濃度測定、③環境試料中の放射性物質濃度測定)と留意事項、出勤時の装備及び機材等を講義

※eラーニング(講義1～3の理解度確認テスト)の受講は、原則、集合研修の受講条件となります。

集合研修(選択受講可)			
9:00～ 9:10	10分	開会・イントロダクション	
9:10～ 9:40	30分	<u>eラーニングの復習</u>	放射線の基礎(講義1)、緊急時モニタリングの流れ(講義2)、緊急時モニタリングの実際(講義3)の復習
9:40～ 9:45	5分	休 憩	
9:45～ 10:45	60分	<u>実習1</u> 放射線の性質確認	放射線測定器の取扱いとして、個人線量計や各種サーベイメータ(NaI(Tl)、GM、ZnS(Ag)、電離箱)の使用方法について説明後、実際に使用し実習
10:45～ 10:55	10分	<u>実習2</u> 緊急時モニタリング 資機材の取扱い	緊急時モニタリングに使用する資機材のうち、可搬型モニタリングポストの操作方法を実習
10:55～ 11:05	10分	休 憩	
11:05～ 11:50	45分	<u>実習3</u> 空間放射線量率の測定	空間放射線量率の測定実習
		<u>実習4</u> 環境試料の採取	大気中の放射性物質の採取実習、環境試料(飲料水、土壌)の採取実習
		※2班にわかれて実施	
11:50～ 12:50	60分	昼 休 憩	
12:50～ 13:35	45分	<u>実習3</u> <u>実習4</u>	
13:35～ 13:45	10分	休 憩	
13:45～ 16:50 ※途中休憩5分あり	120分	<u>演習</u> 緊急時モニタリング活動	
		(1) 出勤準備	事故想定に基づく周辺住民等への被ばく経路と必要となる野外モニタリング方法の確認、緊急時モニタリング指示書の確認、装備及び資機材の準備を確認
		(2) 測定・採取	空間線量率の測定及びデータの確認、可搬型モニタリングポストの配備計画の確認、設置及び測定データの記録、大気試料、環境試料(飲料水、土壌)の採取
	40分	(3) 脱衣と被ばく管理	防護衣の脱衣、個人被ばく線量の記録、身体汚染状況の測定、採取試料の保管・管理
		振返りと講評	演習における気づき事項について、意見交換し、その内容をまとめ、良好事例や改善事項を抽出する。
16:50～ 17:00	10分	理解度確認テスト・アンケート・修了証授与・閉会	

※1 各カリキュラムの最後に質疑応答の時間を設けております。

※2 カリキュラムは変更となる場合があります。

**令和3年度モニタリング実務研修
「モニタリング技術に関する基礎的な講座」受講申込票**

締切：令和3年11月30日（火）17:00まで

申込日：令和3年 月 日

開催地域	神奈川県		開催日	令和3年12月14日（火）		
受講者 情報	フリガナ				氏名は修了証に使用しますので、誤りのないようご記入ください。	
	氏名					
	所属機関					
	部署		役職			
	上記情報（氏名、所属機関、部署）を基に受講者名簿を作成し、本講座にて配付いたします。					
	所属機関所在地	〒				
	電話番号		FAX			
	E-mail	eラーニング登録に使用します。メールアドレスごとに個人IDを発行しますので、原則、個別のメールアドレスをご記入ください。				
取りまとめ 担当者	複数の受講者を取りまとめの一括して申し込む場合は、取りまとめ担当者情報をご記入ください。					
	氏名		所属			
	電話番号		FAX			
	E-mail					
受講決定 送信先	<input type="checkbox"/> 受講者E-mail <input type="checkbox"/> 取りまとめ担当者E-mail <input type="checkbox"/> その他（ ）					
事前確認 事項	受講するプログラム	<input type="checkbox"/> eラーニングの復習 <input type="checkbox"/> 実習1 <input type="checkbox"/> 実習2 <input type="checkbox"/> 実習3 <input type="checkbox"/> 実習4 <input type="checkbox"/> 演習				
	業務経験年数 （原子力防災又は放射線関連）	<input type="checkbox"/> 1年未満 <input type="checkbox"/> 1年以上～3年未満 <input type="checkbox"/> 3年以上～5年未満 <input type="checkbox"/> 5年以上				
	原子力防災に関する 訓練参加経験	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし				
	原子力防災に関する 研修参加経験	<input type="checkbox"/> あり（緊急時モニタリング関連） <input type="checkbox"/> あり（その他） <input type="checkbox"/> なし				
	原子力災害時の役割	<input type="checkbox"/> EMC要員 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> わからない				

- ※1 eラーニング（講義1～3の理解度確認テスト）の受講は、原則、集合研修の受講条件となります。
- ※2 応募締切後、受講決定通知及び講座案内を指定のメールアドレスに送信いたします。なお、定員を超えるお申込みがあった場合は、未受講者を優先するなど調整する場合があります。
- ※3 お申し込み状況は、開催地域の地方公共団体のご担当者にご報告いたします。

<申込先> 公益財団法人原子力安全研究協会 放射線災害医療研究所 防災グループ（担当：世木田） E-mail: moni-ken@nsra.or.jp FAX : 03-6809-2270

◎上記の個人情報は、本事業以外には、一切使用いたしません。